

# 吉見 宏 メモリアル 札幌都心交通再考フォーラム

日時: 2023年10月15日(日)  
会場: 北海学園大学豊平キャンパス  
札幌市豊平区旭町4丁目1-40  
★地下鉄東豊線「学園前」直結  
主催: 札幌LRTの会  
後援: 北海道大学大学院経済学研究院  
: 北海道大学大学院経済学研究院  
地域経済経営ネットワークセンター  
: 北海学園大学



水彩色鉛筆画: 鈴木 周作

## 線路のある街 = 出会いの街

パネルディスカッション 12:30開場 13:00~16:30 会場: 7号館 D20

参加費 一般: 500円 学生: 100円

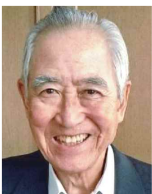
パネリスト



**中尾 正俊** 宇都宮ライトレール株式会社 常務取締役 / 広島大学 大学院 社会科学部 博士課程修了 / 京都大学大学院 工学研究科 「上級都市交通政策技術者」養成コース終了 / 公益財団法人 鉄道技術研究所 レールアドバイザー / 元広島電鉄株式会社 常務取締役 電車カンパニープレジデント / 元 全国路面軌道連絡協議会 専務理事



**宇都宮 浄人** 関西大学 経済学部教授  
兵庫県生まれ。日本銀行勤務を経て2011年から現職 / 2000年代半ばから、「人と環境にやさしい交通をめざす交通をめざす協議会」に参画し、地域公共交通活性化再生法や交通政策基本法の成立に向け活動 / 北大地域経済経営ネットワーク研究センターの2019年度シンポジウムでも講演 / 著書に『地域公共交通の統合的政策』(東洋経済新報社)など。



**荒川 尚次** 市電を守り再配置をすすめるプロジェクト代表 / 1962年 札幌市職員になる / 1975年より2003年まで通算6期 札幌市議会議員歴任 / 市議時代には、歴代の市長に対し札幌市電の再配置問題に関する質問をおこない、坂垣市長より「市電存続」、桂市長より「再配置の検討」の答弁を得た。議員辞職後現在のプロジェクトを立ち上げ、土田市長の「市電存続表明」につなげた。



**松村 耕一** (株)マリア手芸店 代表取締役会長、1951年札幌生まれ。1975年 東京造形大学インダストリアルデザイン学科卒業後、大正15年創業の家業マリア手芸店の3代目後継者となる。変貌する札幌を時計台の傍でずっと眺めてきた。愛される札幌、暮らしに夢をもてるデザインは、私たち団塊世代の責任だ。中央地区町内会連合会副会長 / 札幌駅前通振興会副会長、札幌LRTの会副会長

コーディネーター 申し込みは下のQRコードから ↓



**浅妻 裕** 北海学園大学経済学部教授  
石川県生まれ。一橋大学大学院経済学研究科を経て2002年より北海学園大学勤務。専門は環境経済学・経済地理学・静脈産業論。交通分野に関しては、地理学的手法を用いながら、軌道系交通と、都市の経済・社会との関係について研究を行っている。著書・論文に『国際リユースとグローバル市場』(成山堂)、『GISを用いた路面電車ループ化効果の可視化』(第55回土木計画学研究発表会・講演集)など

### 市電貸切「LRT号」運行中

すすきの→電車事業所→すすきの 無料(申込順22名)  
日時 「テーマ」案内役は札幌LRTの会員等

- ① 8/20(日)11:30発「市電の歴史 車両の話」早川淳一・和田哲
- ② 9/10(日)13:00発「市電沿線 山鼻の話」永喜多宗雄
- ③ 10/8(日)13:00発「さっぽろの景色変遷の話」吉村政昭
- ④ 10/15(日)09:30発「フォーラム当日参加者用試乗車」
- ⑤ 11/19(日)13:00発「市電延伸の話」荒川尚次・松村耕一
- ⑥ 12/24(日)15:00発「子ども対象 クリスマス電車」

### 協賛・意見広告募集中

10/15当日配布のプログラムに掲載します。8/31〆切  
A4版(タテ)カラー完全版下入稿 1ページ料金税込5,000円  
※手書きもそのまま印刷です。掲載の可否は主催者が判断いたします。

### フォーラム懇親会

10/15(日) 18:30~20:30  
会場: 狸小路2丁目 ライオン 会費: 5,000円(要申込)

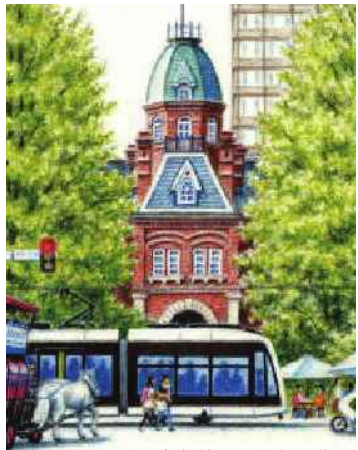
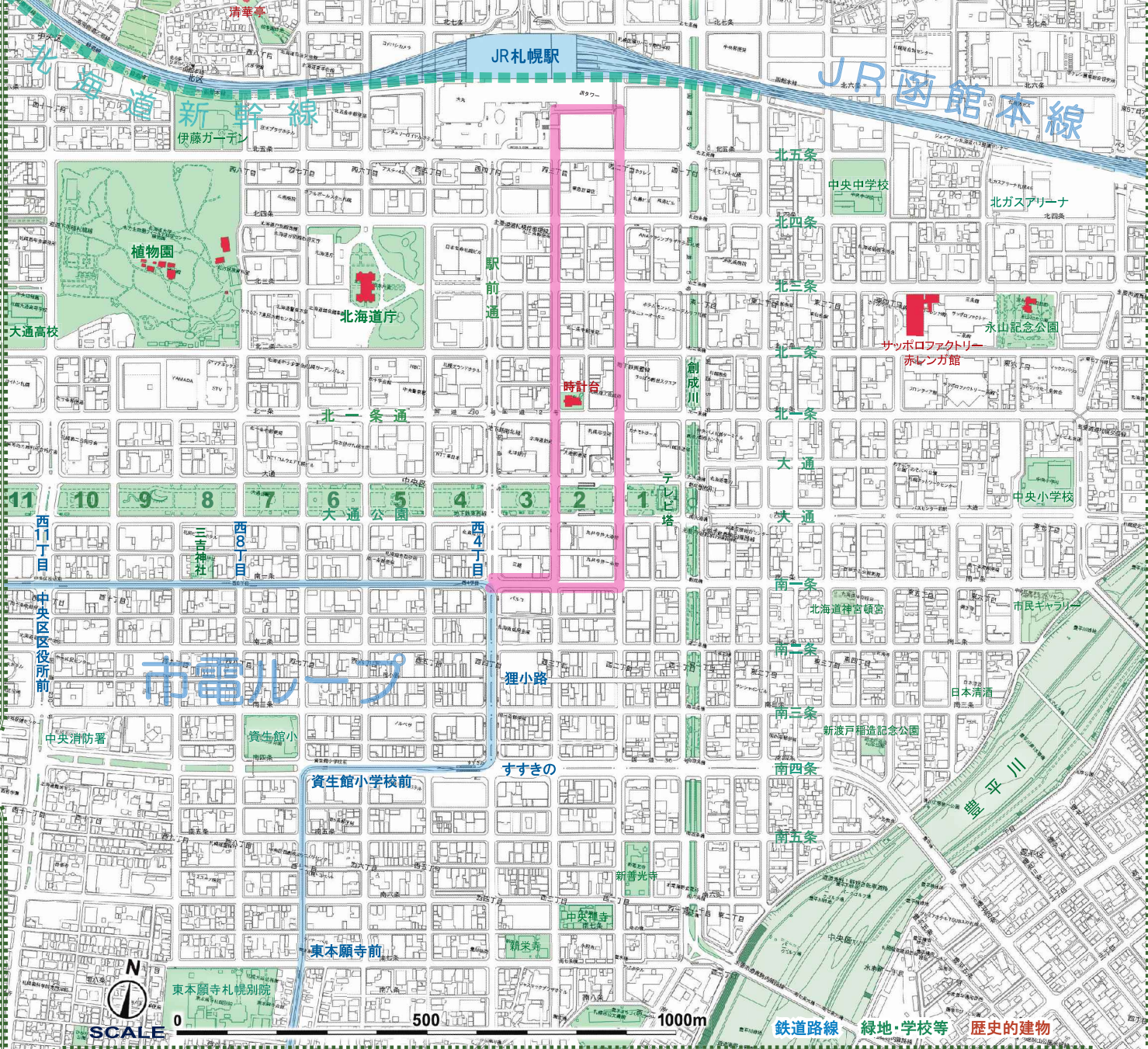
参加申し込みはこちらのQRコードから

札幌LRTの会 →

メールアドレス: ikazuo@rose.ocn.ne.jp



# 札幌LRTの会は市電の札幌駅延伸を推進しています。



水彩色鉛筆画：鈴木 周作

## 路面電車からLRTへ

このルートは、今年1月2日に、病気のため亡くなられた札幌LRTの会の吉見宏会長が示された延伸案のひとつです。LRTとは、路面電車を近代都市の新しい乗物としてデザインしたインフラです。札幌市電のループ化は、地下鉄を持つ大都市でも、通勤、通学、観光の足として都心活性化に役立つことを実証しました。札幌駅に新幹線が到着したときにも、市電は新しい札幌の風景として親しまれるに違いありません。札幌LRTの会は、吉見会長のこの思いを忘れることなく、新しいまちづくりを進めてまいります。市電をどんなルートで延伸するか、あなたもこの地図に描いてください。地図は札幌市のウェブサイトから誰でも利用できます。



故 吉見 宏 会長  
1961.8.1～2023.1.2  
北海道大学  
理事・副学長  
2020.10～2023.1  
副学長 2016.4～2018.3  
経済学研究科長・学部長  
2012.4～2016.3  
経営学博士 1990～

**検索** 札幌市地図情報サービス <https://www.city.sapporo.jp/>



札幌LRTの会は1996年に発足した市民の会です。近年、世界諸都市で採用の路面電車Light Rail Transitに注目し札幌圏の交通を利用者の立場から検討し発信しています。全国路面電車サミットへの参画のほか、会の著書として「札幌・市電の走る街」トンボ出版、「札幌市電が走った街 今昔」「札幌市電が走る街 今昔」JTBパブリッシング、があります。